



# 2025年3月期 第2四半期（中間期） 決算説明会

**CREATIVE CONNECTIVITY**

—Challenge, Creativity, Solutions

SMK株式会社（6798）

2024年11月7日

# FY2024 2Q決算の概況

執行役員 北平 至

- 売上高は前年同期比2.3%増の236億円に、営業利益は利益率が改善し、前年同期の△1.7億円から1.0億円に黒字転換

単位：百万円

	FY2023 1H実績	FY2024 1H実績	増減率
売上高	23,075	23,614	+2.3%
営業利益 (営業利益率)	△177 (－)	108 (0.5%)	－
経常利益	1,118	74	△93.3%
中間純利益	1,010	△287	－
1株当たり中間純利益 (円)	154.50	△45.35	－
為替平均レート (1USD=)	141.27円	153.17円	

- CS事業部 : 情報通信、車載、産機市場が好調に推移
- SCI事業部 : 家電市場が好調に推移するも、情報通信、車載、産機市場が低調

単位：百万円

		FY2023 1H 実績	FY2024 1H 実績	前年同期比		コメント
				増減額	増減率	
CS 事業部	売上高	10,349	11,519	+1,170	+11.3%	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ カメラ、E-Bike関連が増加</li> <li>■ タブレット関連が好調</li> <li>■ 再生エネルギー関連が増加</li> <li>■ アミューズメント関連が低調</li> </ul>
	営業利益 (営業利益率)	526 (5.1%)	1,160 (10.1%)	+634	+120.5%	
SCI 事業部	売上高	12,515	11,982	△533	△4.3%	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 家電機器用リモコンが好調</li> <li>■ 車載カメラモジュール、ユニットが低調</li> </ul>
	営業利益 (営業利益率)	△608 (-)	△851 (-)	△243	-	
イノベーション センター 旧 開発センター	売上高	210	113	△97	△46.1%	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ モバイルプリンター用、医療機器用Bluetooth®モジュールが減少</li> <li>■ 照明機器用Sub-GHz 通信システムが前年並み</li> </ul>
	営業利益 (営業利益率)	△95 (-)	△200 (-)	△105	-	
合計	売上高	23,075	23,614	+539	+2.3%	
	営業利益 (営業利益率)	△177 (-)	108 (0.5%)	+286	-	
為替平均レート (1USD=)		141.27円	153.17円			

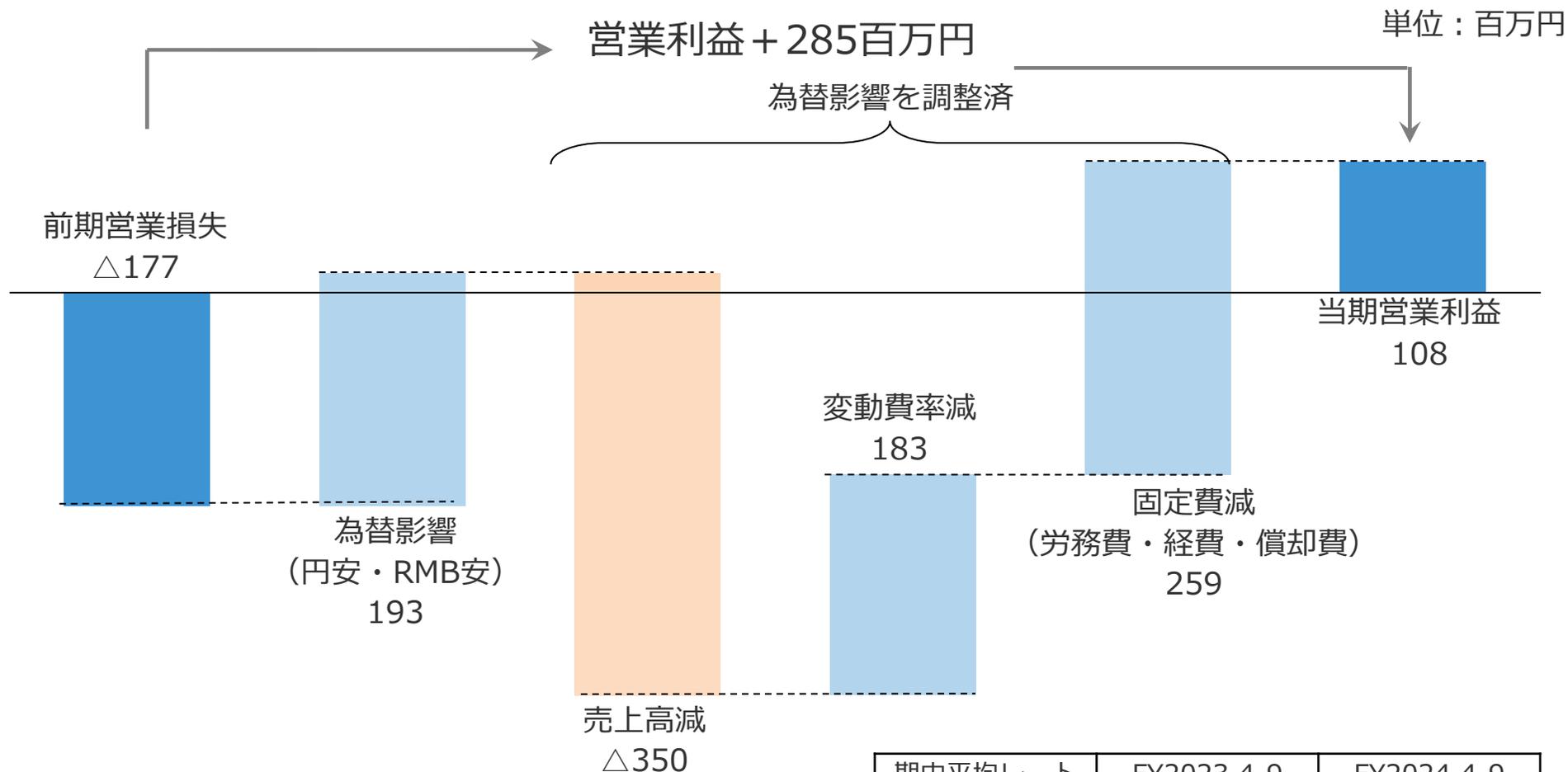
( ) : 前年同期比  
単位：百万円

		FY2024		1Q比 増減額	1Q → 2Qのトレンド
		1Q	2Q		
CS 事業部	売上高	(+21.1%) 5,717	(+3.1%) 5,801	+84	堅調に推移（1Qと同水準） ■ タブレット関連コネクタ ■ 再生可能エネルギー関連コネクタ
	営業利益	(+1,147.8%) 569	(+23.1%) 591	+21	
SCI 事業部	売上高	(△4.4%) 5,944	(△4.1%) 6,037	+92	堅調に推移（1Qと同水準） ■ エアコン用リモコン ■ サニタリー関連リモコン
	営業利益	(-) △528	(-) △322	+206	
イノベーション センター	売上高	(△36.0%) 64	(△55.3%) 49	△14	低調に推移 ■ 照明機器用Sub-GHz 通信システム
	営業利益	(-) △104	(-) △95	+9	
合計	売上高	(+6.2%) 11,726	(△1.2%) 11,888	+161	
	営業利益	(-) △64	(△16.0%) 172	+236	

単位：百万円

		FY2023 1H実績	FY2024 1H実績	前年同期比		コメント
				増減額	増減率	
市場別	情報通信	3,771	4,052	+280	+7.4%	<b>&lt;日本&gt;</b> 家電：サニタリー用リモコンが好調 車載：E-Bike用操作ユニットが低調 <b>&lt;北米&gt;</b> 情通：タブレット用コネクタが増加 家電：住設用ユニットが低調 <b>&lt;中国&gt;</b> 産機・その他：再生可能エネルギー関連コネクタが増加 車載：コネクタが低調 <b>&lt;その他アジア&gt;</b> 家電：エアコン用リモコンが好調 <b>&lt;欧州&gt;</b> 車載：車載用リモコンが低調 家電：住設用リモコンが低調
	家電	9,045	10,026	+980	+10.8%	
	車載	8,065	7,145	△919	△11.4%	
	産機・その他	2,192	2,390	+197	+9.0%	
地域別	日本	7,208	6,944	△263	△3.7%	
	北米	5,866	6,021	+154	+2.6%	
	中国	5,176	5,378	+201	+3.9%	
	その他アジア	3,650	4,209	+559	+15.3%	
	欧州	1,173	1,061	△112	△9.6%	
	合計	23,075	23,614	+539	+2.3%	
	為替平均レート (1USD=)	141.27円	153.17円			

- 為替影響を除く実質ベースでは売上高減により営業利益が減少したものの、円安効果、プロダクトミックスによる変動費率改善、固定費削減により営業利益を計上



期中平均レート	FY2023 4-9	FY2024 4-9
USD/JPY	141.27	153.17
USD/RMB	7.14	7.21

- 上期業績を踏まえて、通期利益予想を上方修正
- FY2024期末配当において、創立100周年記念配当40円を実施

単位：百万円

	FY2023実績 A	FY2024予想 (2024/5/9) B	FY2024予想 (2024/10/29) C	増減率 C/A
売上高	46,522	50,000	48,000	+3.2%
営業利益 (営業利益率)	△1,243 (△2.7%)	△200 (△0.4%)	200 (0.4%)	—
経常利益	226	200	600	+165.2%
当期純利益	△489	0	200	—
1株当たり当期純利益 (円)	△75.00	0.00	31.56	—
配当金 (円)	100.00 (中間 50/期末 50)	100.00 (中間 50/期末 50)	140.00 (中間 50/期末 90) 期末に記念配当40含む	
為替平均レート (1USD=)	144.56円	150.00円	1H 153.17円 2H 145.00円	

単位：百万円

	2024/3 (A)	2024/9 (B)	増減 (B) - (A)
<b>資産</b>	58,444	57,390	△1,053
現預金	10,258	10,942	+683
受取手形及び売掛金	13,222	11,644	△1,578
棚卸資産	9,257	8,948	△308
固定資産	24,619	24,594	△25
<b>負債</b>	26,300	26,250	△50
買掛金及び未払金	6,503	5,742	△761
有利子負債	14,365	14,995	+629
<b>純資産</b>	32,143	31,140	△1,002
資本金	7,996	7,996	-
<b>自己資本比率</b>	55.0%	54.3%	△0.7%

単位：百万円

	FY2023 4-9	FY2024 4-9
<b>営業キャッシュフロー</b>	2,062	1,570
運転資金	75	920
税引前利益	1,264	△7
減価償却費	1,254	1,146
その他	△532	△488
<b>投資キャッシュフロー</b>	△977	△1,012
<b>フリーキャッシュフロー</b>	1,084	558
<b>財務キャッシュフロー</b>	217	324
有利子負債の増減額	874	643
自己株式の増減額	△1	△1
配当金の支払金額	△655	△318
<b>現金等期首残高</b>	8,915	10,197
<b>現金等期末残高</b>	9,859	10,882

FY2024 見通し・

中期経営計画「SMK Next100」進捗

代表取締役社長 池田 靖光

単位：百万円

		FY2023 実績 A	FY2024予想		増減率	利益増減コメント
			(2024/5) B	(2024/10) C	C/A	
CS 事業部	売上高	20,586	23,420	23,158	+12.5%	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 増収効果による増益</li> <li>■ プロダクトミックス改善</li> <li>■ 生産性向上</li> </ul>
	営業利益	1,095	965	1,775	+62.1%	
SCI 事業部	売上高	25,541	26,283	24,563	△3.8%	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 前期は棚卸資産の評価損約7億円を計上</li> <li>■ 固定費・組立加工費削減効果</li> </ul>
	営業利益	△2,145	△709	△1,086	—	
イノベーション センター	売上高	394	297	278	△29.4%	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 組織再編（人員増）による固定費増</li> <li>■ Bluetooth®モジュール売上減少</li> </ul>
	営業利益	△193	△456	△487	—	
合計	売上高	46,522	50,000	48,000	+3.2%	
	営業利益	△1,243	△200	200	—	
為替平均レート (1USD=)		144.56円	150.00円	1H : 153.17円 2H : 145.00円		

# <参考> 市場・地域別 | 通期売上高 (FY2023-FY2024)

13/31

		FY2023 実績 A	FY2024予想		増減率	売上高増減コメント
			(2024/5) B	(2024/10) C	C/A	
市場別	情報通信	7,908	9,000	8,700	+10.0%	<b>&lt;日本&gt;</b> 家電：サニタリー向けリモコン、デジカメ用コネクタが好調 車載：E-Bike関連コネクタが拡大、操作ユニットが低調 カメラコネクタが順調 カメラモジュールが減少  <b>&lt;北米&gt;</b> 情通：タブレット向けコネクタが拡大 家電：家電機器用リモコンが好調 住設用ユニットが低調 車載：カメラコネクタが順調  <b>&lt;中国&gt;</b> 産機：再生可能エネルギー関連コネクタが好調 車載：車載関連コネクタが低調 情通：スマートフォンコネクタが堅調 家電：アミューズメント関連コネクタ低調  <b>&lt;その他アジア&gt;</b> 家電：エアコン用リモコンが好調 車載：車載用コネクタが低調  <b>&lt;欧州&gt;</b> 車載：車載用リモコンが低調 家電：住設用リモコンが低調
	家電	17,500	18,000	18,300	+4.6%	
	車載	16,599	17,500	16,000	△3.6%	
	産機・その他	4,513	5,500	5,000	+10.8%	
地域別	日本	15,313	16,800	15,700	+2.5%	
	北米	11,684	14,100	12,700	+8.7%	
	中国	9,830	10,000	10,200	+3.8%	
	その他アジア	7,414	6,700	7,400	△0.2%	
	欧州	2,279	2,400	2,000	△12.2%	
合計		46,522	50,000	48,000	+3.2%	
為替平均レート (1USD=)		144.56円	150.00円	1H : 153.17円 2H : 145.00円		

- 次の100年の飛躍に向け、『**持続的成長に向けた構造改革**』を加速
- サステナビリティを前提とし、売上・利益の持続的成長の実現に向けた取り組み、経営基盤並びに資本・財務戦略の高度化を進め、企業価値最大化につなげる

## 企業価値の向上

売上・利益の持続的成長の実現

事業を支える経営基盤の強化

資本・財務戦略の高度化

ESG&サステナビリティ経営の推進

## 課題

## 取り組み

### CS事業部

持続的な売上拡大と収益性の向上

- 注力市場での売り上げ拡大
  - 車載/E-Bike、タブレット、再生エネルギー関連が好調
- シミュレーション技術の高度化、製造工程のスマート化推進
  - 自動化推進による生産性向上

### SCI事業部

収益性の向上と成長軌道への回復

- 高付加価値製品の創出
  - Milweb®ミリ波センサー
  - 自立給電型コイン電池モジュール
- 注力市場での売り上げ拡大
  - 家電：サニタリー、エアコン関連が好調
- 製造現場の自動化・スマート化の推進
  - 自動化推進による生産性向上

### イノベーションセンター

新規事業創出

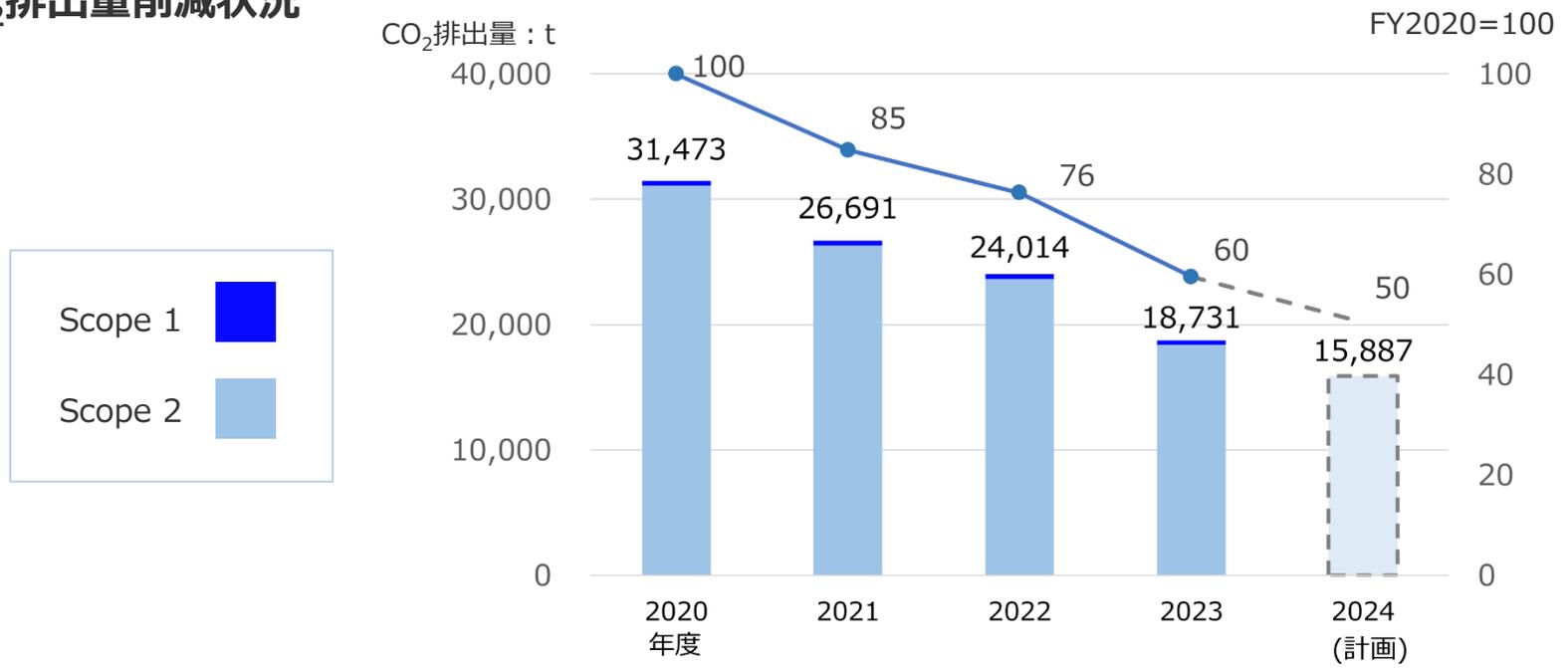
- 新規事業創出の取り組み加速
  - 声による認知症診断支援アルゴリズム 検知精度が向上
  - 電波式見守りセンサー 複数の商談が進行中

課題	取り組み
売上利益低迷と成長性の不透明感 利益のボラティリティの高さ 低いROEとその要因である低営業利益率	①中期経営計画達成に向けた着実な取り組み実行 ②資本効率の向上 ③株主還元・投資家対話の強化

課題	足許の取り組み
資本効率の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ROICの段階的導入                             <ul style="list-style-type: none"> <li>- 1QよりROIC計測トライアル開始</li> <li>- 投下資本の効率化に向けたCCCの改善</li> <li>- 政策株の段階的な解消</li> </ul> </li> </ul>
株主還元の充実・投資家対話の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 財務健全性を前提にDOE2.0%を目途とした配当の実施（今次中計期間中）</li> <li>■ 100周年記念配当40円の増配実施（100円⇒140円）</li> <li>■ 決算説明資料の充実（1Q、3Qも開示開始）</li> <li>■ 統合報告書の情報内容の充実</li> </ul>

課題	取り組み
ESG&サステナビリティ経営推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ サステナビリティ推進体制再編（2024年7月）                     <ul style="list-style-type: none"> <li>- CSR委員会と危機管理委員会統合・改組 ⇒ CSR・サステナビリティ委員会</li> </ul> </li> <li>■ 環境憲章改定（2024年8月1日）</li> <li>■ 社員行動規範改定（2024年10月1日）</li> <li>■ 人事評価制度の改定（2025年4月）</li> </ul>

## ■ CO<sub>2</sub>排出量削減状況



## 2025年4月、SMKは創立100周年を迎えます

### ① SMKプライベートショー「TEXPO2025」開催

テーマ：電子部品からソリューションへ

会期：2025年7月2日（水）～4日（金）

会場：東京国際フォーラム

- ◆ 100年の歴史の歩み
- ◆ 最新の部品・技術・ソリューションを多数ご提案



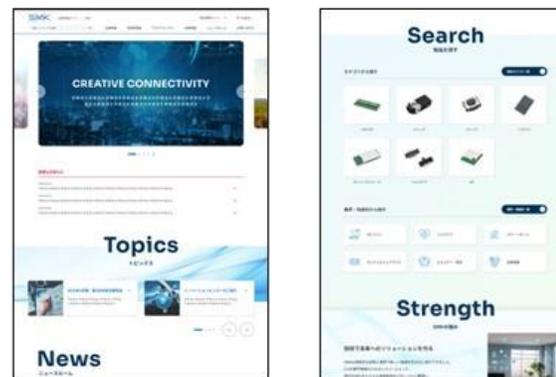
(東京国際フォーラム)

### ② SMK Webサイトフルリニューアル

公開：2025年5月

URL：<https://www.smk.co.jp/>

- ◆ 必要な情報を見つけやすい構造に
- ◆ 企業情報・製品情報を充実
- ◆ ステークホルダーの皆様のお役に立つ情報を拡充



(イメージ画像)

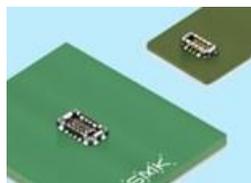
### ③ 創立100周年記念配当

株主の皆様のご長年にわたるご支援にお応えするため、1株当たり40円の記念配当を実施

第2四半期末	期末	合計
50円00銭	90円00銭（普通配当 50円、記念配当 40円）	140円00銭

【主要生産品目】 各種コネクタ

## Information & Communication Technology



高周波対応  
基板対基板コネクタ

大電流対応  
小型基板対基板コネクタ



USB Type-C™  
レセプタクル



φ3.5mmミニジャック

## Car Electronics



ロック機構付  
FPC/FFCコネクタ



FAKRA対応同軸コネクタ



ハイポゴ®ターミナル

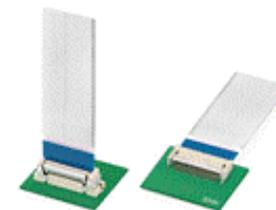


車載カメラコネクタ

## Home Appliance & Industry/Others



太陽電池モジュールコネクタ



0.5mm ピッチ ワンアクション  
FPC/FFCコネクタ

執行役員 CS事業部長 菅野 英雄

**<FY2024 上期>**

上期実績は、売上高は前年同期11%増の115億円、営業利益は前年同期121%増の11.6億円

- 車載・情報通信・産機市場 共に前期に比べ好調に推移

**<FY2024 通期>**

通期予想は、売上高は前年同期12%増の232億円、営業利益は前年同期62%増の17.8億円

- 家電市場を含めた全ての市場において 前期を上回って推移する見込み

**<売上高・営業利益>**

単位：百万円

		FY2023 1H 実績	FY2024 1H 実績	FY2024 2H 予想	2H/1H	FY2023 通期 実績	FY2024 通期 予想	前期比
売上		10,349	11,519	11,639	101%	20,586	23,158	112%
市場別	情報通信	3,167	3,824	3,946	103%	6,670	7,770	116%
	家電	1,739	1,613	1,362	84%	2,841	2,974	105%
	車載	4,719	4,919	4,993	102%	9,428	9,912	105%
	産機・ その他	724	1,163	1,338	115%	1,647	2,502	152%
営業利益		526	1,160	615	53%	1,095	1,775	162%
1USD=		¥141.27	¥153.17	¥145.00	-	¥144.56	1H：¥153.17 2H：¥145.00	-

## 1. 事業環境

- ・世界経済は成長軌道を確保
- ・ウクライナ、イスラエル紛争、運河問題など情勢は不安定ながらも、在庫調整が一段落し 需要回復傾向

## 2. 販売状況

- ・車載市場と情報通信市場を2本柱として受注活動
- ・車載市場向け カメラコネクタ 好調
- ・タブレット・ウェアラブル市場 堅調

## 3. 営業利益

- ・原価高止まり（原材料、物流費、労務費高騰）
- ・為替変動

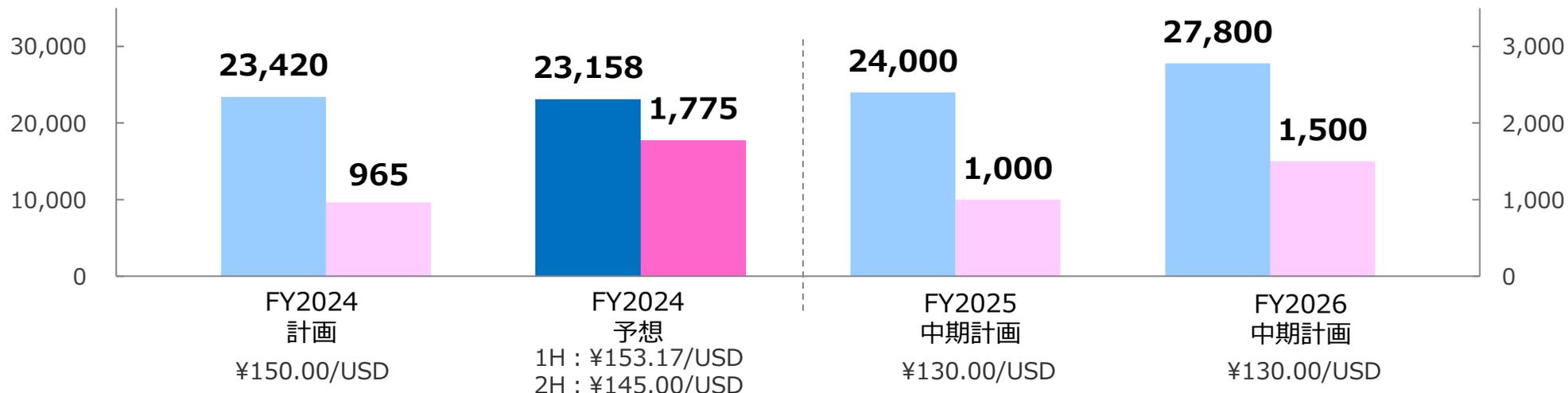
## 4. 損益改善

- ・自動化推進による生産性向上などものづくり力の強化

売上高：百万円

■ 売上高 ■ 営業利益

利益：百万円



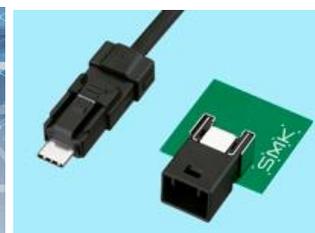
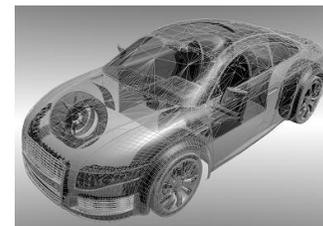
## 車載市場

xEV BMSの 拡販強化

- ・EVバッテリー向けFPCコネクタの販売拡大およびレパートリーの拡充 → **販売拡大・商談活発化**

ADAS、インフォテインメント

- ・車載カメラコネクタ カメラの高画素化に向けた**高速伝送対応**
- ・1Gbpsイーサネットコネクタの業界最幅狭タイプの販売拡大  
→ **ロック機構付きUSB Type-C対応コネクタ 商品化**



11月リリース予定

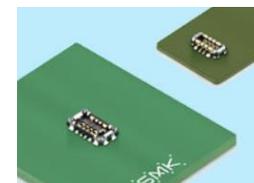
## ICT市場

- ・高性能化するスマートフォン/タブレット向けコネクタ (**小型・高速・大電流**) → **新製品開発**
- ・ウェアラブル向けコネクタの積極投入

## 再生エネルギー関連市場への取組

- ・小型、大電流対応コネクタの開発強化 → **商談活発化**

## BCPへの対応強化



【主要生産品目】 スイッチ、車載カメラ、無線モジュール、リモコン、タッチセンサー

## 主な用途

- ▶ 操作スイッチ
- ▶ スマホ用スイッチ
- ▶ 車載用カメラ
- ▶ 無線モジュール
- ▶ 各種リモコン
- ▶ 車載用タッチセンサー
- ▶ 産機民生用タッチセンサー

## SW - Switch -



## CU - Composite Unit -



## RC - Remote Control -



## TS - Touch Sensor -



執行役員 SCI事業部長 伊東 崇

<FY2024 1H 実績>

売上高は前年同期比96%の120億円、営業利益は前年同期の△6.1億円から△8.5億円に赤字拡大

- 前年同期比で家電市場は115%と好調、情報通信38%、及び車載市場66%と低調

<FY2024 2H 予想>

売上高は上期比105%の126億円、営業利益は△2.4億円と赤字幅縮小

- 車載市場が上期比181%の大幅増

<売上高・営業利益>

単位：百万円

		FY2023 1H 実績	FY2024 1H 実績	FY2024 2H 予想	2H/1H	FY2023 通期 実績	FY2024 通期 予想	前期比
売上		12,512	11,982	12,581	105%	25,536	24,563	96%
市場別	情報通信	615	230	221	96%	1,532	451	29%
	家電	7,278	8,415	7,100	84%	14,811	15,515	105%
	車載	3,350	2,217	4,012	181%	7,150	6,229	87%
	産機・その他	1,269	1,120	1,248	111%	2,043	2,368	116%
営業利益		△608	△851	△235	-	△2,145	△1,086	-
1USD=		¥141.27	¥153.17	¥145.00	-	¥144.56	1H : ¥153.17 2H : ¥145.00	-

## 1. 既存市場

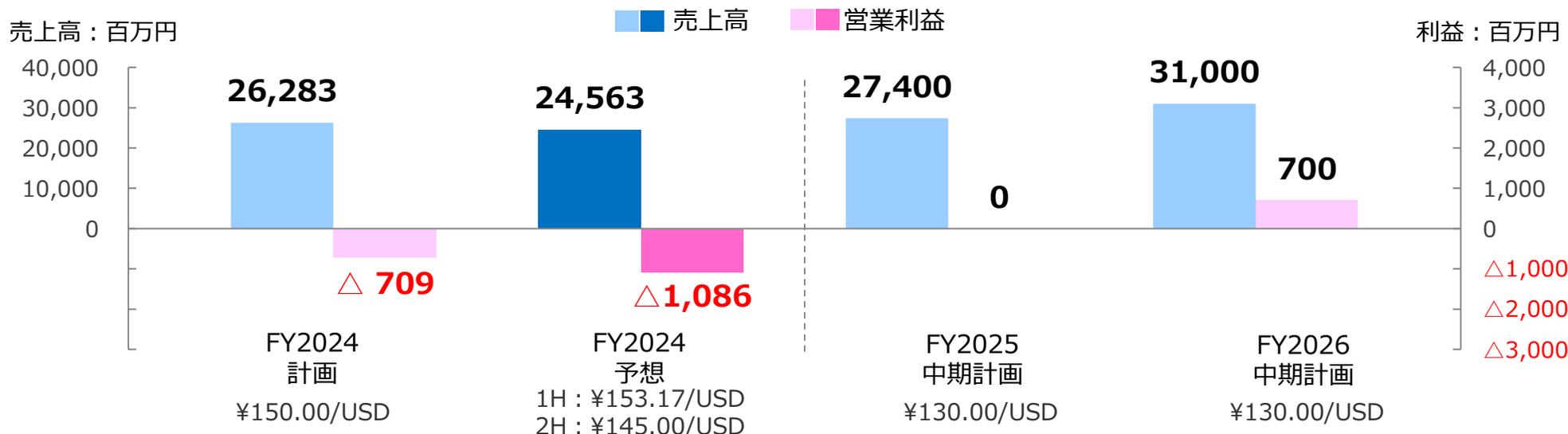
- ・家電・住設市場： санитарリー用・エアコン用を中心に好調に推移
- ・車載市場： 主要顧客の在庫調整解消方向、及び採用モデル追加による売上増

## 2. 新市場開拓

- ・センシング+新技術による高付加価値製品を開発・・・Milweb® Sleep
- ・既存技術による商品開発・・・自立給電型コイン電池モジュール

## 3. 組織体制強化

- ・拡販強化： 営業/設計の組織体制を見直し、エリア別拡販サポート体制を構築中
- ・生産体制強化： 為替リスク軽減・国内回帰要求への継続活動中
- ・生産性向上： リモコン自動組立検査機導入による省人化、及び海外事業所間横展開の推進  
協働ロボット導入による部分自動化の推進



### <家電・住設市場>

- ・ 主要顧客への深耕
- ・ グローバル開発・生産体制での挑戦
- +  $\alpha$  の提案活動
  - ◆ コアテクノロジーの融合
  - ◆ 機能とデザインの両立

### <車載市場>

- ・ ユニット品の商品提案
- E-Bikeビジネスへの拡大
- ・ 車載カメラモジュールの商品群拡充
- EVやADASへの対応
- ・ グローバル開発・生産体制での挑戦
- 新分野の開拓

### <新市場・商品開発>

既存技術による商品開発

センシング+新技術による高付加価値製品の開発

## Milweb® Sleep

AIを活用して非接触で睡眠深度を測定

- ・ 非接触測定
- ・ 超低消費電力Bluetooth® Low Energy、UART対応
- ・ 家電などの機器との連携が可能



(健康サポートEXPO内) 快適睡眠フェア2024に出展

## 自立給電型コイン電池モジュール

コイン型電池CR2032に置換え

エナジーハーベスティングモジュール

- ・ メンテナンスフリー
- ・ 環境配慮デザイン
- ・ 超低消費電力Bluetooth® Low Energy、SoCにより機能拡張



2024年9月プレスリリース

旧開発センターと旧営業本部マーケティング部内のオープンイノベーション活動による新規ビジネス開発チームを統合し、2024年4月にイノベーションセンターを設立。新規ビジネス開発リソースを一本化し、強化・スピードアップを図る。

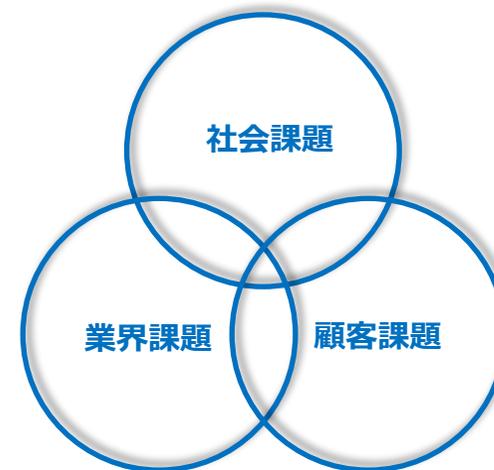
## イノベーションセンターのミッション

1. 独自性ある高付加価値技術・製品によりSMKの次の収益の柱の創造
2. HW+SW（アルゴリズム）+サービスの新たなビジネスモデルの創造
3. 社会課題解決型のソリューションビジネスの創造

社内R&Dと社外の先端技術を活用したオープンイノベーションを積極的に掛け合わせ、社会課題、業界課題、顧客課題の解決を目指しています。

## イノベーション活動のテーマ

- ・ ヘルスケア
- ・ ADAS
- ・ IoT
- ・ AI



取締役常務執行役員 イノベーションセンター所長 原 哲雄

## 【売上】

- 通信モジュール：既存顧客の所要減により対計画90.3%  
 <Bluetooth®モジュール> 既存顧客のモバイルプリンタ用、医療機器用が所要減により減収  
 <Sub-GHzモジュール> 照明機器用が前年並みに推移
- オープンイノベーション：POCが下期にずれのため、売上が下期偏重

## 【営業利益】

- 新規事業立ち上げのための計画外の市場調査費が発生した分マイナス増

## &lt;売上高・営業利益&gt;

単位：百万円

		FY2023 1H 実績	FY2024 1H 実績	FY2024 2H 予想	2H/1H	FY2023 通期 実績	FY2024 通期 予想	前期比
売上		210	113	165	146%	398	278	70%
市場別	情報通信	0	0	33	-	0	33	-
	家電	0	0	0	-	1	0	-
	車載	0	5	0	-	2	5	250%
	産機・その他	210	108	132	122%	395	240	61%
営業利益		△95	△200	△287	-	△193	△487	-
1USD=		¥141.27	¥153.17	¥145.00	-	¥144.56	1H：¥153.17 2H：¥145.00	-

## 中期成長戦略

### ① センサーとアルゴリズムを組み合わせた開発の推進

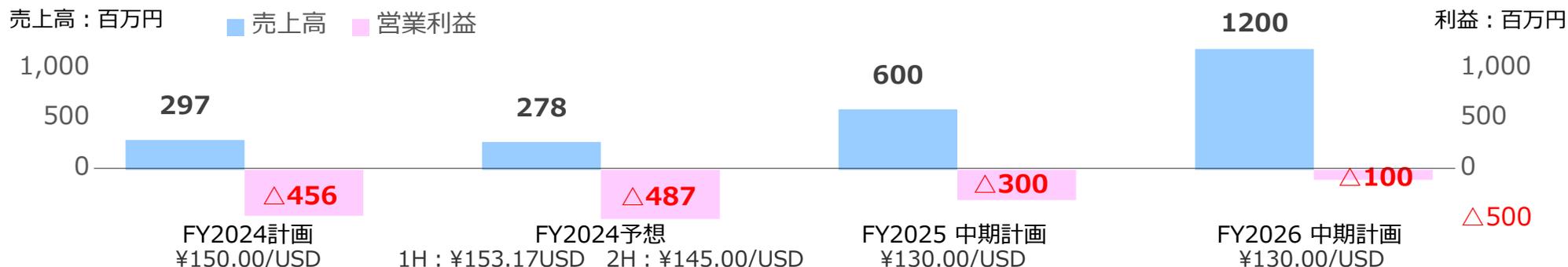
- コアとなるアルゴリズムを自社開発することで利益率の向上や、顧客対応を可能に
- 積極的に大学や企業と連携し、自社開発で足りない部分は補完

### ② ヘルスケア領域におけるビジネス開発

- 認知症／鬱に関連するパートナー企業（保険、製薬会社等）と連携したビジネス機会を追求
- ハードウェアビジネスに加え、高利益率のサブスクリプションビジネスを追求

## トピックス

- **音響センサー**を小売実店舗什器に設置。故障データをもとに故障予知のアルゴリズム開発を進めるべくPOC推進中。
- **筋電センサー**を用いたゴルフスイングの改善検討を開始。
- **電波式生体センサー**は上期の開発目標を達成。下期は心拍数／心拍間隔の精度向上を図る。
- **声による分析技術**は検知精度80%以上に至り、開発完了に目途。生命保険会社や大手SIer等と商談継続中。
- **電波式見守りセンサー**は浴室での転倒や溺水検知に強み。複数の高齢者施設と商談の最終交渉中。
- 新たに**SAS（睡眠時無呼吸症候群）リスク可視化技術**の取り組みを開始



## 【 筋電センサー「Muscle Tracker®」 】

## 概要

- SMK独自のアルゴリズムを用い、筋電センサーにて計測した筋電位から筋活動の可視化や筋疲労の検出が可能に

## トピックス

- ゴルフスイング解析：ゴルフスクール運営会社と連携し、スイング改善に向けた検討を開始
- 下期は、上級者や中級者の筋電位データやスイングデータ等を解析し、スイング×筋電位の相関を確認予定



## 【 電波式生体センサー 】

## 概要

- 生体情報から体調変化やストレスレベルなどを推定
- SMKにて生体情報を取得するアルゴリズムを開発中

## トピックス

- 静止状態（座位、仰向け／うつ伏せ寝）での呼吸測定の精度の開発目標値を達成
- 下期は、特許出願を行った信号処理手法を用い、静止状態での心拍数／心拍間隔の精度向上を図る
- 車載を想定した振動下にて生体情報の精度を高める手法も検討予定

## 【 SAS（睡眠時無呼吸症候群）リスク可視化技術 】

## 概要

- スマホやマイクデバイスを用いて就寝中の呼吸音を分析
- 即日でSASのリスクを判定

## トピックス

- SASリスク検知アプリのプロトタイプが完成
- バス会社などでのトライアル評価を開始



## 【 乗員検知センサー 】

## 概要

- ミリ波レーダーを車室内の天井などに設置し、乗員の有無、体格（大人／子供）、位置、乗車人数を判別
- カナダPontosense社と協力し、開発を推進中

## トピックス

- 国内外の得意先と商談中



## 注意事項

この資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、本資料の作成時点において当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で行った判断に基づくものです。しかしながら現実には、通常予測し得ないような特別の事情の発生等により、本資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じる可能性があります。当社といたしましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めて参りますが、本資料記載の業績見通しのみにより全面的に依拠してご判断されることは、くれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

## 商標について

- Android TV は Google LLC の商標です。
- Bluetooth® ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc. が所有権を有します。SMK株式会社は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。
- USB Type-C™は、USB Implementers Forumの商標です。
- ハイポゴ、HCF、MilwebおよびMuscle Trackerは、SMK株式会社の登録商標です。
- その他記載されている社名・商品名などは各社の商標または登録商標です。